

# 会 議 録

会議名	平成28年度 第2回 丸亀市未来を築く地域戦略会議
開催日時	平成29年3月17日(金) 10:00~11:55
開催場所	丸亀市役所 本館2階第3会議室
出席者	<p><b>出席した委員</b></p> <p>村山 卓      漆原 光徳      高木 和代      頼富 俊哉      佐藤 国夫          明石 安哲      松木 浩章      西川 真智子      守家 敬子      松井 信子          伊藤 智也      三井 喜代子</p> <p><b>欠席した委員</b></p> <p>立山 雄一      日野 明世      田岡 洋司      横田 幸司      中田 陽子          三谷 雄治      高木 明美      奥田 徹</p> <p><b>事務局</b></p> <p>市長公室長 山田 理恵子          (政策課) 課長 山地 幸夫      副課長 富士川 貴      担当長 志村 芳隆          主任 宇野 大志郎</p>
議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国の総合戦略の改訂等について</li> <li>2. 地方創生関連交付金活用事業等について</li> <li>3. 平成29年度予算の地方創生関連事業等について</li> <li>4. その他</li> </ol>
傍聴者	0名
発言者	議事の概要及び発言の要旨
山地政策課長	<p>本日は、大変お忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。ただ今より、丸亀市未来を築く地域戦略会議を開会いたします。ここからの会議の進行につきましては、丸亀市附属機関設置条例第7条の規定に基づき、村山会長にお願いいたします。</p>
村山会長	<p>それでは会議を進めさせていただきます。はじめに、本日の会議は、委員総数20名中12名のご出席をいただいておりますので、丸亀市附属機関設置条例の規定により、会議が有効に成立していることをご報告しておきます。</p> <p>まず、議事の1「国の総合戦略の改訂について」、それから議事の2「地方創生関連交付金活用事業について」、関連がございますので、まとめて事務局より説明をお願いします。</p>
富士川副課長	<資料1、資料2に基づき説明>
村山会長	<p>平成27年10月に総合戦略を策定後、まだ1年半という状況で、27年度、28年度事業の効果は見えにくいところではありますが、最初のしかけは重要ですので、今後の方向性や、事業の提案など、ご意見をいただければと思います。</p>

佐藤委員	2019年には次の瀬戸内国際芸術祭が開催されますが、丸亀・坂出周遊観光圏形成の事業について、継続するのか、新たな取組みを行うのか考えはありますか。
富士川副課長	瀬戸内国際芸術祭が契機となり始めた取組みですが、これまで丸亀と坂出は連携が少し薄い面もありましたので、今後もこうした方向性の連携は続けたいと考えています。
村山会長	瀬戸内国際芸術祭の効果の大きいところは高松市に偏っているという現状から、春会期の坂出、秋会期の丸亀など、中讃地域にも1つの拠点を作っていくというなかでの動きだと思います。そこで、坂出との連携が強化できればということで、この取組みが第一歩ということです。開催期間中だけでなく、それ以外の年度に、どのように効果を繋げていくかという点も課題です。
明石委員	その事業で作成した関連グッズは無料配布でしょうか、販売であれば金額がいくらで、どれくらい売れたのでしょうか。効果検証の意味で確認が必要だと思います。
富士川副課長	フェイスパックは無料で配布したと聞いておりますが、販売したものもございます。
明石委員	グッズの作成業者は、丸亀の関係の業者でしょうか。せっきくの予算を投入するわけですから、流通政策の点もチェックが必要だと思います。
山地政策課長	販売実績や取扱い等について、担当課に確認していますので、後ほど報告します。
頼富委員	リノベーションまちづくりの成果として、ネットワークの構築や、まちづくりのヒント、取組みのアピールがあげられていますが、具体化まで持っていかないと、活性化に繋がらないと思います。取組みの課題にも、事業者の不在とありますが、実現に向けてどう考えていますか。
富士川副課長	市としましても、この成果に留まるのは不十分で、一つでも提案を具体化できなかったのかという感想は持っています。今後の課題にもあげていますが、リノベーション対象となる物件を、新しい事業者とつなげる仲立ちをする役目を担う「家守候補者」または「家守事業者」を育成することが重要です。また、新明倫館の取組みにもありますが、ある程度リスクを背負って創業していく人材づくりも大切だと考えています。創業には、金融機関の協力も必要ですので、官民連携の観点からも、こうした取組みをアピールしたいと思います。
頼富委員	最近商店街に一店舗オープンしましたが、順次目に見えるかたちを積み重ねていかないと、変わったという印象は持てないと思いますので、実現化に向けた取組みが必要だと思います。

村山会長	北九州市がリノベーションまちづくりの先進的取組みを行っています。ある程度行政が加担しないと難しい面もありますので、事例をしっかり学びながら、例えば家守の候補として、地域おこし協力隊を募集するなど、根付くかたちを仕掛け続けて欲しいと思います。
伊藤委員	社会人大学院・新明倫館事業は、受講生から学費を徴収していますが、事業予算の比率からすると、公費の投入されている部分が大きいです。カリキュラム、日程などホームページで公開されていますが、わかりづらく参画しにくいので、次年度以降工夫をして欲しいです。
富士川副課長	確かに、ホームページでは事業の中身の様子もわからないと思いますので、受講生の声を取り上げるなど、参加しやすい周知の方法を考えていきます。
佐藤委員	受講生の年齢層や、創業の職種、創業後の状況はどうなっていますか。
富士川副課長	年齢層は様々ですが、30代・40代、60歳前後の層が多いです。創業は、2名が商店を開かれました。一人は経験者、もう一人は全く経験のない方です。卒塾して開業しましたが、講師もこれからが大変で、フォローアップはしっかりしていくと聞いております。
村山会長	卒塾した方が再度学んだり、コンサルタントを受ける仕組みがあるといいですね。他にご意見はございますか。
松井委員	自然増を目指す取組みで、結婚・子育ての希望を実現するための取組みが必要だと思います。個々人の考え方もありますが、結婚を促す仕組み、働きかけはどのような状況でしょうか。
富士川副課長	結婚に関する取組みとして、婚活イベントを実施しております。子育て支援策は、力を入れて取り組んでいるところです。
松井委員	生活が安定しないなど、所得の面も不安要素として大きいと思います。
富士川副課長	地方創生の取組みが始まる以前に行われた国のアンケートでも、結婚しない理由として、所得面など生活の不安があげられていたと思います。若い世代を含め、地方に戻り、仕事があって着実な生活を送れることが、将来の不安を解消することにつながるものと思います。
三井委員	婚活イベントは、2年前ほどに、大々的に開催されましたが、その後市として定期的に行っていますか。

富士川副課長	2年前は合併10周年事業として、丸亀商工会議所と協力して実施しました。それ以前、それ以降は、市の外郭団体である丸亀市福祉事業団が主体となって取り組んでいます。
村山会長	結婚の推進に向けて、新しいソフト事業が出てくることを期待します。
富士川副課長	先ほどの瀬戸内国際芸術祭関連グッズの件ですが、フェイスパックは配布用、その他の商品は販売し、てぬぐい1,200円、ハンカチ500円、マトリョーシカ1,500円、うちわ500円、売れ筋は、てぬぐい、ハンカチだったようです。
佐藤委員	丸亀城天守入場者数が11万人を超えたということですが、丸亀城への観光客の移動手段が自家用車、バス、電車なのか分析していますか。お城が注目されるなかで、瀬戸内国際芸術祭だけでなく、年間を通じて訪れてもらうためにも、お城を中心として、まちなかを歩いて観光するシステムづくりが必要です。また、観光バスの駐車場も不足しており、インフラ整備も課題となっています。
村山会長	市役所近隣の大手町再編が終わった後には、観光客が長い時間滞在できる環境を考えていく必要があります。
富士川副課長	坂出市との連携もそうですが、琴平町など中讃地域での周遊型観光に取り組んでおり、観光バスの役割は重要と認識しています。
明石委員	丸亀の持っている資産を、観光に十分に活かしきれていないと感じています。例えば、江戸時代に日本で一番有名と言われた女性剣士、丸亀藩の「尼崎里也」や、江戸の妖怪と言われた「鳥居要蔵」の住んでいた場所は今でも残っており、他にも丸亀城周辺には、戦災を受けなかったおかげで残っている遺産がたくさんあります。その価値を見だし、高めていくことに力を注いで欲しいと思います。 また、地方創生交付金を活用して様々な事業を実施していますが、変化が目に見えてわかるような集中的な投資も考えてはどうかと思います。
村山会長	その他いかがでしょうか。それでは、次に議事の3「平成29年度予算の地方創生関連事業等について」事務局より説明をお願いします。
富士川副課長	<資料1、資料3に基づき説明>
西川委員	病児・病後児保育は市内で1か所で、綾歌や飯山からは遠いのが現状ですが、増やす予定はありますか。
山地政策課長	需要が多いため、こども未来計画では1か所増やす計画ですが、受入側の施設整備が必要なことなど課題があり、具体的な受入先が決まっていないのが現状です。なお、善

	<p>通寺市にも2か所ありまして、中讃定住自立圏の圏域市町の住民が、料金など同じ条件で利用することも可能です。</p>
伊藤委員	<p>自然増を目指した子育て環境充実の取組みのなかで、小中学校建設費約4億4千万円のうち、プール改築に関する費用が1億6千万円ほどだと思います。老朽化したプールは全国的にも問題になっており、学校1つに1つのプールが必要なのか議論されています。子どもの安全性を確保し、教育的な効果もある、なおかつ先生やPTAの負担感を減らし、経済的に優れたものを選択することが課題となっていますが、予算計上するにあたり、検討、検証はどのようになっていますか。</p>
山地政策課長	<p>複数校で1つのプールを使うなど、様々な考え方はありますが、教育施設の充実を優先し、そこまでの検討はできておりませんが、ご指摘のとおり今後の課題であると認識しています。</p>
伊藤委員	<p>全国的な動きでいいますと、公共施設を利用して外部講師が指導する、または民間施設を利用して先生が指導する、もしくは外部委託するなど、ソフト面での工夫がなされています。整備費は膨大ですので、こうした点を組み入れていけば、浮いた予算を他の事業に活かせるので、先を見据えた公共施設整備・管理を目指して欲しいと思います。</p>
村山会長	<p>公共施設管理部門とも調整いただく必要がありますね。</p>
守家委員	<p>新生児の聴覚検査費が新規事業であがっていますが、検査後のステップとして、難聴の子どもに対する周囲の子どもたちの配慮など、多様性を認め合える環境づくりのため、市として何か考えはありますか。</p>
富士川副課長	<p>例えば発達障害児の支援など、多様性への配慮は以前から課題となっています。市では、学校教育サポート室を組織し、スクールソーシャルワーカーなど専門家の意見を学校現場に活かせるようにしており、こうした役割は今後も重要で、力を入れる方向で考えています。</p>
守家委員	<p>それから、先般、和三盆ワークショップが丸亀の商店街で開催されていましたが、県外の方が多くいらしており、久しぶりに賑わった丸亀の商店街を見て、正直嬉しかったですね。</p>
富士川副課長	<p>公共交通機関の結節点ということで、丸亀駅周辺地域が賑わっていることは、まちの印象を良くします。リノベーションスクールの取組みを駅周辺で行っていることも、同じ考え方に基づきますが、イベントがある時だけでなく普段から賑わうまちを目指し、こうした取組みを少しずつ重ねることで、駅周辺ひいては市全体の活性化に繋げていければと考えています。</p>

明石委員	<p>事業が多分野にまたがるとしても、地域全体、役所内の共通理解として、例えばそれを全て駅前の再編に集中するという考え方もあると思います。同じ予算をかけるにしても、適正な集中と分散のバランスを図ることで、市民にとって目に見える変革が出て、市民自身のまちづくりに対する意欲も湧いてくるのだと思います。</p>
富士川副課長	<p>人口減少時代においては、予算も限られてきますので、予算の集中と選択は今後さらに重要となってきます。国からは、コンパクトシティの考え方にに基づき、都市機能を集約させ、誘導していく考えも必要と言われており、都市計画の見直しの時期を迎えるなかで、現在担当課で検討を進めているところです。</p>
村山会長	<p>市民が市内に来るアクセス環境の不便さが一つの大きな課題です。駐車場が充実していない、渋滞するなど、郊外型の店舗に行く方を選択する状況ですが、丸亀はまちとしてのポテンシャルがあるので、今後の計画に期待したいところです。</p> <p>また、丸亀市における地方創生の現状検証のうち、直近の有効求人倍率が、業種に偏りがありますが1.86倍となり、就労の選択肢が多いことが予想される点、また、人口が転入超過となっている状況は、素晴らしい結果だと思います。</p>
明石委員	<p>全国的に人口減少傾向のなかで、なぜ、そうした結果になっているか検証したうえで、自分たちのまちが優れているところを認識し、PRすれば、都会に行った人が帰ってくるかもしれません。</p>
山地政策課長	<p>東洋経済新報社の住みよさランキングでは、5年連続で四国一位となっています。また、平成28年度に実施した総合計画のアンケートでは、ずっと丸亀に住み続けたいという方や、若い方で一度市外へ転出した方も、戻って来たいという声が多くなっています。</p>
村山会長	<p>その他いかがでしょうか。それでは、次に議事の4「その他」について事務局より何かございますか。</p>
山田市長公室長	<p>総合戦略の策定にあたっては、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。地方創生の政策や事業は、議員の関心も高く、3月議会では効果や検証などが問われました。将来を見据えた取組みであり、なかなかすぐには成果の見えにくい部分もありますが、市の重点施策として計画を進めていきたいと考えておりますので、今後ともよろしくをお願いします。</p>
村山会長	<p>現在の委員の任期が5月までということで、今回がおそらく最後の会議になりますが、地方創生という、現在一番重要な課題に取り組めて良かったと思います。委員の皆様におかれましては2年間お疲れ様でした。</p> <p style="text-align: right;">(会議終了)</p>